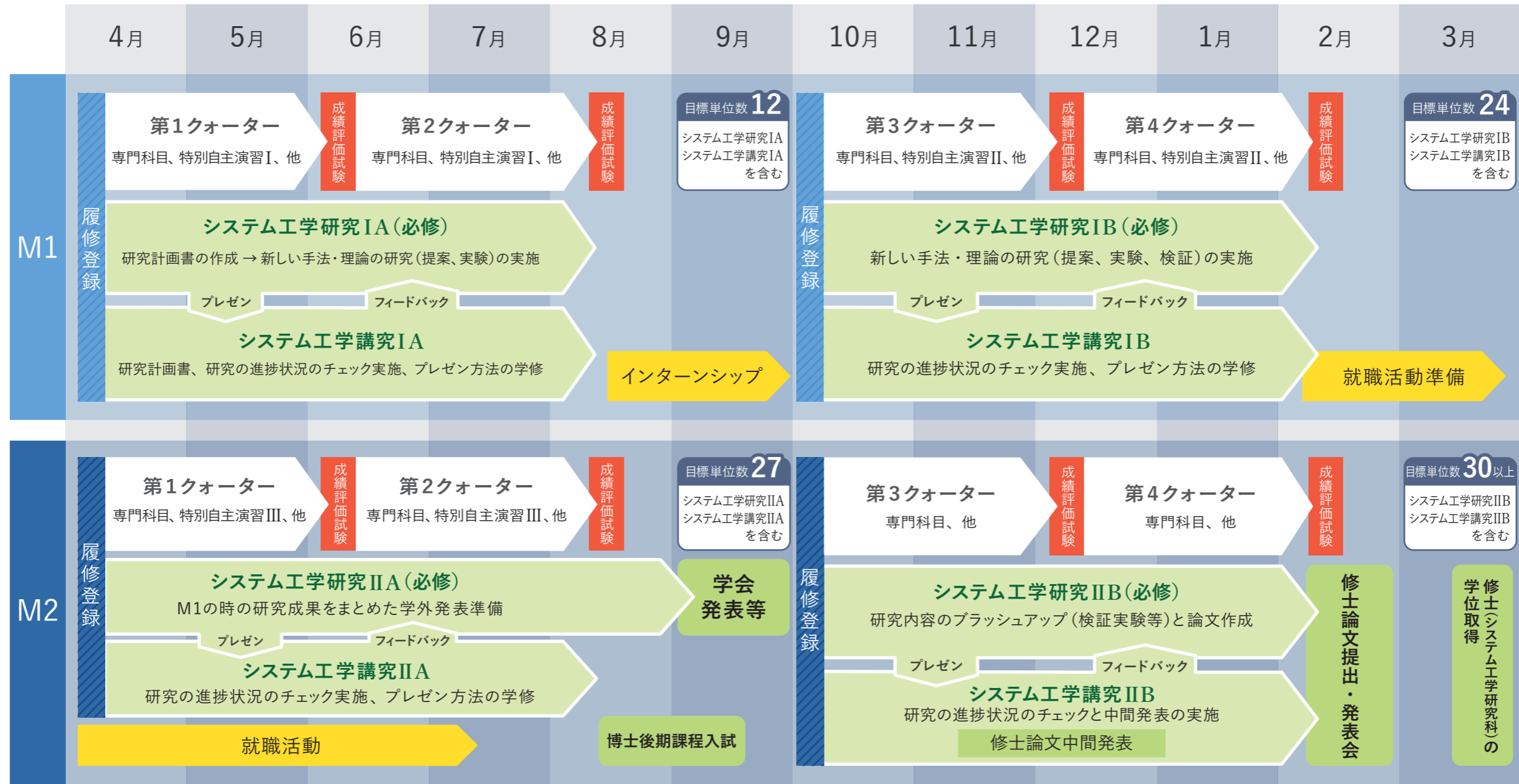


博士前期課程履修モデル

システム工学研究科博士前期課程2年間の履修モデルを示します。入学後、どのように研究を進めるのか、またどれぐらい単位を取ればよいのか、目安として参考にしてください。



研究指導は、指導教員を責任者として、指導教員の所属するクラスターの他の教員のうち、個々の学生の専門に近い他の教員が副指導教員となり、助言・補佐となる指導体制により行います。
 研究指導に当たっては、学生の自主性を尊重しつつ、研究課題に応じて、教室での理論的指導、フィールドワーク、各種実技実習、国内外での学会発表、ならびにシステム工学講究として実施されるゼミ(大ゼミ)など多様な形態での指導を実施します。